

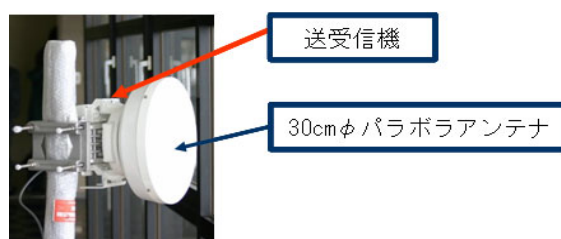
特 徴

- 1.無線によるブロードバンド環境の実現
- 2.コストの大幅な削減が可能(従来のような鉄塔設備が不要)
- 3.新設・移設が容易なシステムの実現
(小型軽量の無線設備により柔軟な運用が可能)

○無線設備等の概要

伝送容量について

- ▶ 6Mbps～156Mbpsの通信が可能
- ▶ 様々なタイプの無線機が導入が可能

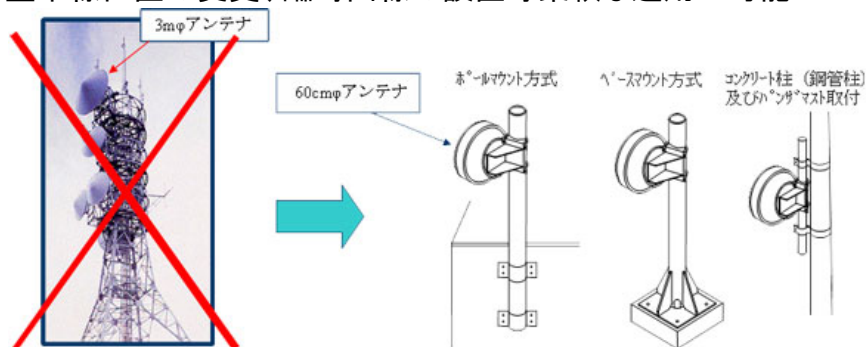


伝送距離について

- ▶ P-P(対向)方式で最大 10km 程度
 - ▶ P-MP(1対多方向)方式で最大 2km 程度
- ※回線不稼働率、伝送容量(変調方式)、空中線利得、降雨減衰等により、伝送距離は変わります。

設置方法について

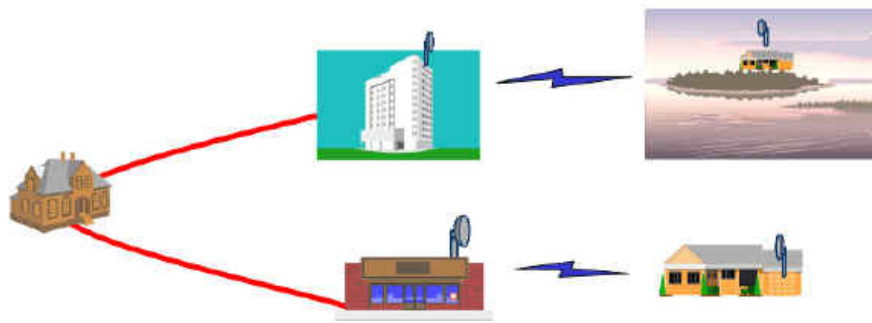
- ▶ 簡易な設置が可能
- ▶ 従来のマイクロ回線のような鉄塔が不要
- ▶ 空中線位置の変更、臨時回線の設置等柔軟な運用が可能



○活用方法

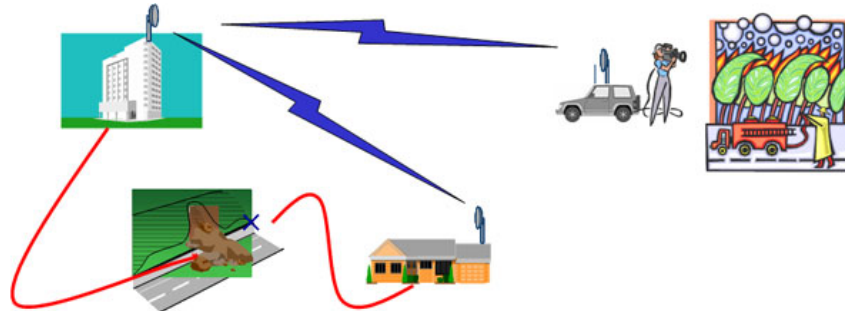
活用方法についてー1

- ▶ 地域イントラネットの伝送路 地理的条件により、光ファイバの敷設が困難な場所
支線系の増設回線 等
- ▶ 近接離島への通信回線
- ▶ 離島内でのイントラネット等の構築



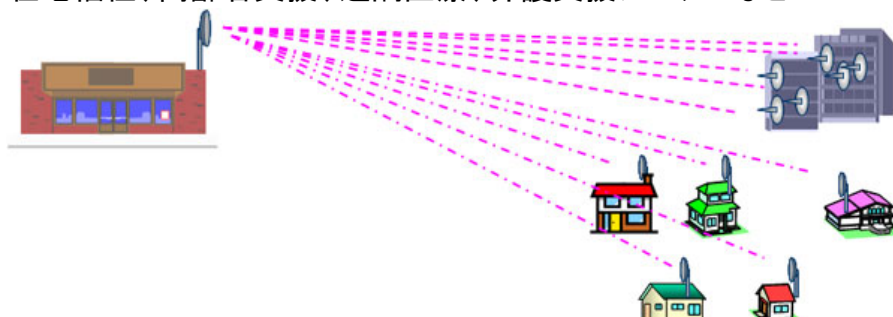
活用方法について－2

- ▶ 非常災害時やイベント等の臨時回線
臨時の大容量通信回線、映像伝送も可能



活用方法について－3

- ▶ P-MP方式による住民への個別配信システム
- ▶ 在宅福祉、高齢者支援、遠隔医療、介護支援システムなど



活用方法について－4

- ▶ 防災行政用無線局（同報固定局、市町村防災移動系）のエントランス回線として活用（固定専用ブロックを使用）

